

平成20年度 宮崎北中学校自己評価書・学校関係者評価書

目標	評価項目	評価			考察	改善策	学校関係者評価	
		生徒	親	教師			評定	所見
自主性	生徒は、自ら進んで発表するなど、授業に意欲的に取り組んでいる。	46	57	36	○生徒の授業に対する取組に積極性があるとは言えない。 ○清掃や係活動について生徒・保護者の多くは意欲的に取り組んでいると評価している。清掃コンクールや清掃カードが効果的であった ○生徒の全般的な自主性について、教師は2学期のほうが厳しい評価をしている。指示待ちの生徒が依然多いと感じている。	○生徒が自ら進んで発表や質問ができるような授業の雰囲気作りや学級経営のあり方を研究していく。 ○清掃や係活動など自主的に取り組めるよう生徒会活動の活性化を図る。 ○自主性を培うためには、進路に対する意識を高めることが大切であるため、学年の発達段階に応じた進路指導の充実を図る。	B+	○生徒は、文化祭等の学校行事に主体的に取り組んでいる。生徒の自主性の基盤はすでにできている。教師は、生徒の授業参加意欲が低いと感じているが、生徒の意欲を引き出す授業の構築に努めてほしい。 ○生徒会活動を通してあいさつ運動が推進され、定着しつつある。生徒の自主活動をさらに伸ばしてほしい。特に、小中の交流実践はすばらしい。 ○中学生にとっては進路の選択が重要である。進路指導の充実とともに、個別指導を重視し、生徒に自信と目的意識を持たせたい。 ○「生徒のよい面」を評価し、伸ばす教育を推進してほしい。
		42	57	27				
	生徒は、清掃や係りの仕事など指示されなくともきちんとできている。	78	78	55				
		82	73	43				
	生徒は、自らを高めようと様々な活動に積極的に取り組んでいる(検定試験、ボランティア活動等)	41	62	55				
		42	66	45				
学力向上	生徒は、家庭学習によく取り組み、その習慣がよく身についている。	58	59	18	○家庭学習の習慣について、生徒・保護者と教師の現状認識に大きな差がある。 ○ほとんどの生徒は、分かる授業のために教師が指導方法の工夫・改善を行っている ○教師は授業外でも昼休みや放課後等使って、個別指導などきめ細かな指導を行っている。	○家庭学習の手引を作成し全生徒に配布したが、その活用について今後指導の徹底を図る。 ○参観日の懇談会等でも家庭学習の話題を取り上げ、家庭と連携して取り組んでいく。 ○個々の生徒に合った家庭学習のあり方を個別指導により定着を図っていく ○研究授業や職員研修を通して授業力の向上を目指していく。	B	○生徒は教師の指導法の工夫・改善を評価している。教師は自信をもって、教材研究と準備をして授業に臨んでほしい。 ○教師は授業外で昼休み等でも個別指導を行っているということであるが、そうした教師の熱意に感謝している。 ○授業における小テストのあり方等についても検討してみたいのではないかと。 ○生徒の学力分析を職員研修で行い、全教科共通の実践事項・各教科の努力点を明確にして学力向上を推進してほしい。 ○家庭学習課題の内容・点検のあり方を工夫し、生徒の学習意欲を高めたい。職員研修でこのことについて討議してみるのもいいのではないかと。 ○学力判断ができるデータを本委員会に提示してほしい。
		59	50	17				
	教師は、分かる授業のために教材・教具を活用したり指導方法の工夫・改善を常に行っている。	76	74	64				
		91	65	58				
	教師は、補充指導や個別指導など授業外でもきめ細かな指導を行っている。	77	76	91				
		75	62	75				

(評価・評定の規準： A：大変よい B：よい C：もう少し D：改善の必要あり / 数字はAとBの合計% 上段：一学期 下段：二学期)

平成20年度 宮崎北中学校自己評価書・学校関係者評価書

目標	評価項目	評価			考察	改善策	学校関係者評価		
		生徒	親	教師			評定	所見	
体力向上	生徒は、部活動に熱心に取り組み、技術や体力を向上させようと努力している。	86	93	73	○生徒は、部活動に熱心に取り組んでおり、成果も徐々に現れてきている。 ○定期的な保健便りの発行により、健康に関する現状や自己管理に対する意識は高まっている。	○部活動においても技術面だけでなく、基礎的な体力向上を目指した練習を強化していく。 ○今後も耐寒訓練や持久走大会を推進し、体力、精神力の向上を図る。 ○健康管理に対する意識向上のため保健指導の充実と保護者への啓発を図る。 ○PTA保体委員会と連携し治療率の向上を目ざす	+	B	○秋の体育大会における生徒の真剣な走りや競技への参加態度から体育行事への関心の高さが伝わってくる。 ○生徒は部活動に熱心に取り組んでおり、たくましい体と精神力を身につけている。 ○授業のねらいを大切にしたい楽しい体育の授業を実施してほしい。 ○保健便り、校内放送、学級における指導を通して健康に関する自己管理意識の向上を図るとともに、食に関する指導もしてほしい。
	本校は、保健体育の時間でも体力づくりのため計画的・組織的によく取り組んでいる。	69	76	45					
	生徒は、健康保持のため早めの治療を心がけるなど健康に関して自己管理の意識が高い。	64	73	9					
		66	58	50					
人間関係づくり	生徒は、諸活動の中で互いに協力したり助け合ったりして、共に伸びていこうとする雰囲気がある	79	79	36	○本校にはいじめ等はなく、生徒に思いやりの心が育っていると見えるが、保護者と教師の評価が2学期に若干下がっている。思いやりの心の育成の必要性を感じている。 ○多くの教師は、生徒の声に耳を傾け、アドバイス等行っていると見える。 ○生徒の地域の人への挨拶は保護者も高く評価しているが、教師は不十分だと感じている。		A	○生徒のあいさつが定着し、地域住民と気持ちよくあいさつを交わしている。 ○あいさつ運動や高齢者宅訪問等の小中交流実践はすばらしい。 ○いじめや仲間はずしはないとのことであるが、いじめは集団の中で必ず発生するという前提の下に、細心の注意を払ってほしい。 ○教師は、生徒の声に耳を傾け、アドバイス等を行っているということであるが、そうした生徒とのかかわりを大切にしたい。 ○道徳の授業の指導の充実を望む。 ○学社融合の教育実践を踏まえ、保護者・地域との連携が強まっている。	
	本校は、いじめや仲間はずし等がなく、生徒に思いやりの心が育っている。	78	64	53					
		82	73	73					
		89	67	66					
	教師は、生徒の声によく耳を傾け、問題解決に向けて様々な助言やアドバイスをしている。	86	81	91					
		85	73	83					
本校の生徒は、地域の人たちに元気のよいあいさつができています。	75	78	27						
	79	74	34						

(評価・評定の規準： A：大変よい B：よい C：もう少し D：改善の必要あり / 数字はAとBの合計% 上段：一学期 下段：二学期)